

第34回 ハートケアネットワーク懇話会

■ 日 時 2019年 2月14日(木) 19:20~21:00

■ 会 場 オンワード総合研究所 1階 中研修室A
住所:横浜市都筑区牛久保3-9-3

19:20-19:25 【製品紹介】 「スー ज्याヌ配合錠」 MSD株式会社

Opening Remarks 川崎市内科医会 医会長 出川 寿一 先生

19:30-20:15 第一部 症例報告(各15分)

【座長】 たかはしハートクリニック 院長 高橋 利之 先生

症例1 「心房細動治療として上大静脈隔離術が奏功した症例」

高野 誠 (聖マリアンナ医科大学 循環器内科)

症例2 「低心機能の高度僧帽弁閉鎖不全症に対してMitraClip術が奏功した症例」

石橋 祐記 (聖マリアンナ医科大学 循環器内科)

症例3 「脳梗塞を契機に発見されたCalcified amorphous tumorの症例」

鈴木 寛俊 (聖マリアンナ医科大学 心臓血管外科)

20:15-21:00 第二部 日常に役立つレクチャー

【座長】 橋本内科・循環器クリニック 院長 橋本 信行 先生

『心血管イベントを考慮した糖尿病治療戦略2019』

【演者】 福岡山王病院 循環器センター長 横井 宏佳 先生

Closing Remarks さかい医院 院長 堺 浩之 先生

※日本医師会生涯教育講座 0.5単位(76 糖尿病)

*講演会終了後、情報交換会をご用意しております。

**先生ご自身の旅費を実費負担させていただく場合がございます。その際はご施設や共催機関／共催団体／共催会社等のルールを確認の上、個別にご相談させていただきますので宜しくお願い致します。

共催： 聖マリアンナ医科大学・川崎市医師会・川崎市内科医会・MSD株式会社

提示症例

症例1 心房細動治療として上大静脈隔離術が奏功した症例

演者:循環器内科 高野 誠

70歳女性 主訴 動悸		小林クリニックから薬剤抵抗性発作性心房細動のためカテーテルアブレーション目的に紹介となる。冷凍凝固アブレーションを用いて両側肺静脈隔離術を施行するも心房細動が出現した。心房細動のトリガーは上大静脈起源であった。そのため上大静脈の電氣的隔離を行い、洞調律を維持した。
診断	心房細動	

症例2 低心機能の高度僧帽弁閉鎖不全症に対してMitraClip術が奏功した症例

演者:循環器内科 石橋 祐記

73歳男性		2017年秋頃から労作時、特に階段での息切れを認め、徐々に症状増悪し北村クリニック受診。北村クリニックで心房細動、心不全を指摘され、近隣の総合病院へ紹介。非虚血性二次性心筋症による低心機能の高度僧帽弁閉鎖不全症と診断された。心不全内服加療後も症状改善せず、xxx病院で開心手術のsecond opinionうけるも手術不耐症例と判断され当院紹介受診。EF35%の機能性高度僧帽弁閉鎖不全症に対して、MitraClip術を施行し症状は軽快した。
診断	僧帽弁閉鎖不全症	

症例3 脳梗塞を契機に発見されたCalcified amorphous tumorの症例

演者:心臓血管外科 鈴木 寛俊

65歳男性 主訴 左視野の狭窄		左視野の狭窄を主訴に神経内科に入院。心臓超音波検査上Calcified Amorphous Tumor(CAT)が疑われ、塞栓症状を来していることから手術治療にいたった。腫瘍は僧帽弁後尖の左室側に認めた。視野確保のために後尖の一部を切開し腫瘍を摘出し、再発が懸念される部位を自己心膜を用いて被覆した。報告の少ない疾患であり、文献的考察を加え報告とする。
診断	Calcified Amorphous Tumor(CAT)	